

第7章. 用紙について

ここでは、本プリンターで使用できる用紙について説明します。用紙にしわ・汚れ・変形などがあると、印字品質が悪くなるばかりでなく、故障の原因になることがあります。用紙の取り扱いには十分注意してください。

1. 用紙に関する注意

用紙を大量に購入して使用する場合は、注文する前に必ず試し印刷を実施してください。用紙が正しく送られることと、印字が明瞭であることを確認してください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、用紙詰まりや用紙折れ、および印字ずれを起こす場合があります。

- 部分的に厚さの異なる用紙
- のり付け面が露出しているもの、波打っているもの、はがれているもの
- 金属の付いているもの
- 切り抜き部分や窓のある用紙（とじ穴付き用紙も含む）
- 浮彫りのある用紙
- 折りたたんだ用紙
- 端または角が切れていたり、折れている用紙
- 極端に薄い用紙または厚い用紙（用紙規格を満たさないもの）

注意 複写枚数は、オリジナルを含めて6枚以内ですが、用紙連量（厚み）によって異なります。

用紙厚最大0.36 mmをこえるものは使用できません。

- 小さすぎる用紙や大きすぎる用紙（用紙規格を満たさないもの）
- 光沢紙や写真付き紙ハガキ等、表面、裏面がツルツルしてすべりやすいもの
- 湾曲した用紙

注意 高温、多湿の場所での用紙の保管は、カールやシワの発生する原因となりますので避けてください。用紙がカールしている場合は、用紙が平らになるように逆にさばいて、カールがなくなるようにしてから使用してください。

用紙は白色上質紙をおすすめ致します。

推奨用紙:

単票: 「マルチ・システム用紙SX」

連続紙: 「汎用用紙（上質連続用紙）」

以下のような用紙を使用する場合は、事前に十分な印字テストを行ってください。

- ラベル紙（用紙を曲げるとラベルがはがれやすいもの）

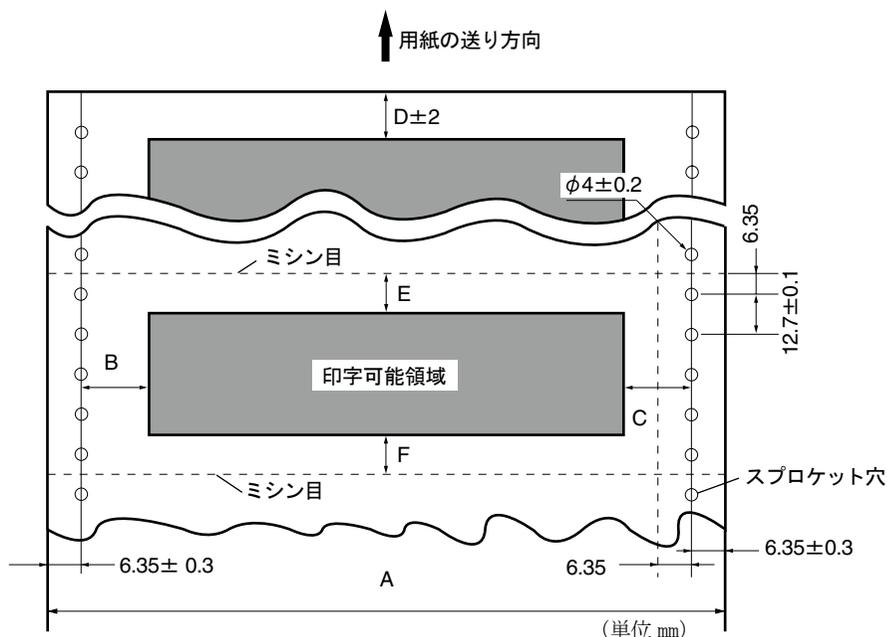
注意 台紙上または台紙とラベル紙をまたぐ印刷は避けてください。

- 紙ホチキスを使用している複葉紙
- 用紙規格を満たさない厚さのハガキや封筒
- 再生紙
- 事前印刷用紙及び用紙裏面に事前印刷のある用紙

2. 連続用紙（下トラクター、上トラクター使用時）

2.1 印字可能領域と用紙寸法

（印字ヘッドの1番ピンにて印字した場合）



記号	寸法	内容
A	3～16 in. (5573-W02) 3～10 in. (5573-V02)	用紙幅
B	6.35 mm (Min.)	sprocket hole, vertical sprocket hole influence, ink smearing, etc. to avoid printing. Recommended to take 12 mm or more in actual use.
C	6.35 mm (Min.)	
D	6.35 mm	自動給紙によるセット時の用紙の頭出し寸法。(用紙先端から印字ヘッドの1ピンまでの距離)
E	6.35 mm	横ミシン目の影響による印字汚れ、ピッチ乱れを避けるため、印字しないことが望ましい領域。
F	6.35 mm	横ミシン目の影響による印字汚れ、ピッチ乱れを避けるため、印字しないことが望ましい領域。ただし、最終ページでのFの値約20 mmは、用紙送り精度が乱れることがあります。

注意 5573-W02で16インチ・サイズ、5573-V02で10インチ・サイズ of 用紙を使用する場合、Bの値は約13mm (Min.) です。

2.2 用紙の種類および枚数

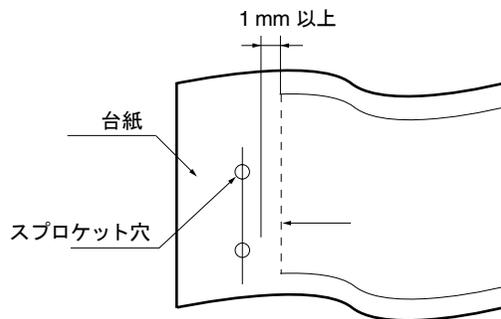
紙質	連量 (kg)	枚数	両側 点又は 線のり付け	両側 紙ホチキス	両側又は 片側フリー
上質紙	45-135	1	-	-	-
ワнтаイム カーボン付用紙	32.5-38.5	4-6	○	△	×
	32.5-48.5	2-3	○	△	×
感圧紙	32.5-38.5	4-6	○	△	×
	34-55	2-3	○	△	×

注意

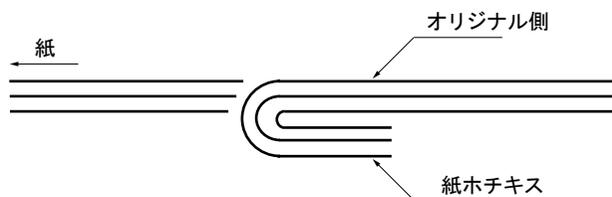
1. 表中の枚数は、オリジナルを含んだ枚数で、同一用紙を重ねて複写した場合の枚数です。
2. 表中の○は、使用を推奨します。△は使用可能ですが、事前に十分なテストを行ってください。また、×は使用不可です。
3. 用紙の連量とは、用紙の厚さの単位であり、四六判 (788 mm×1091 mm) の用紙1000枚の重量を示しています。(単位:kg)
4. トータル厚みが0.36 mmをこえる用紙は使用できません。
5. 単票用紙モードで、連続用紙は使用しないでください。

2.3 複葉紙の使用条件

- (1) カーボン付用紙のカーボン紙は、台紙にのり付けし、スプロケット穴よりも外側に
出ないようにしてください。

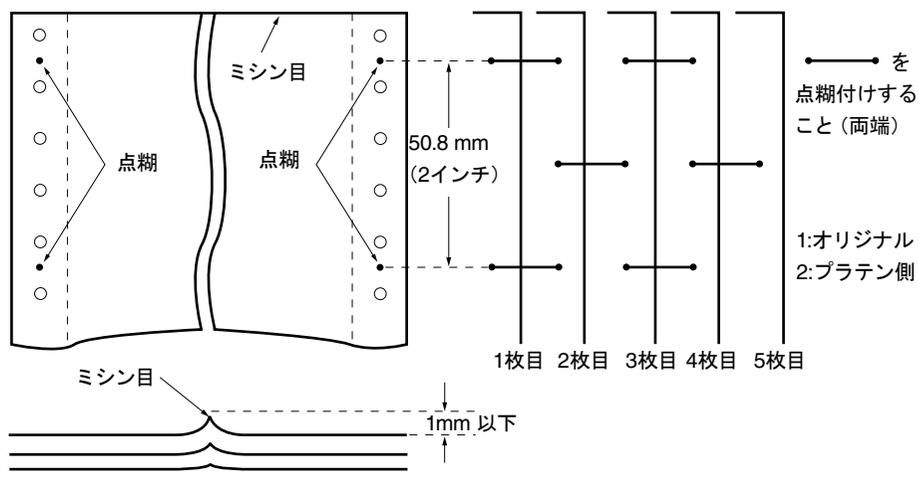


- (2) 紙ホチキスはすべて裏面側に折るよう to してください。
また用紙の固定は、ダブルツメにて (4ツメ) 2インチ間隔で固定してください。



- (3) 紙ホチキスは行間ズレが大きくなりがちなので、3パーツ以上は推奨できません。

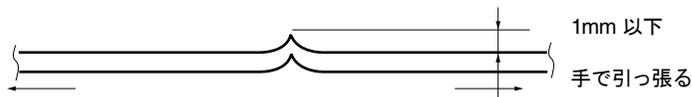
- (4) のり付けは、スプロケット穴付近で行ってください（両端から1/2インチ以内）。
 複葉紙ののり付けは、用紙両端を点のり付けしてください。（下図参照）
 のり付けは、均一でかつ著しいしわがないように注意してください。
 また、複葉紙のミシン目のふくらみの高さは、1 mm以下になるようにしてください。（下図参照）



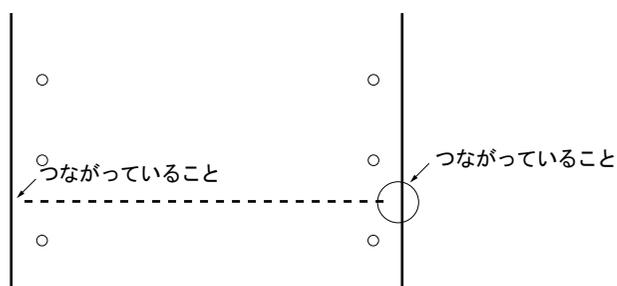
- (5) 帳合は原則として両端帳合とし、片側帳合は不可とします。
- (6) 金属ホチキス綴りは、プリンターを損傷させるので使用しないでください。
- (7) 帳合は均一で、著しいしわができないようにしてください。
- (8) オリジナルと複葉紙で大きさの異なる用紙は使用できません。
- (9) 複写枚数は、オリジナルを含めて6枚以内ですが、用紙連量によって異なります。
 「第3章 5.用紙厚調整」3-21ページを参照してください。
- (10) 紙ホチキス用紙を使用する場合で、用紙走行異常（用紙づまり、印字ずれ、斜行等）があるときには、「カミホチキス」モードで使用してください。
 「第4章 2.初期値設定」4-4ページを参照してください。

2.4 ミシン目について

- (1) 折りたたみ部分の寸法（テント張り寸法）は折りたたんだ用紙を広げた場合（軽く引っ張って）折りたたみ部分の高さが1 mm以下のものを使用してください。



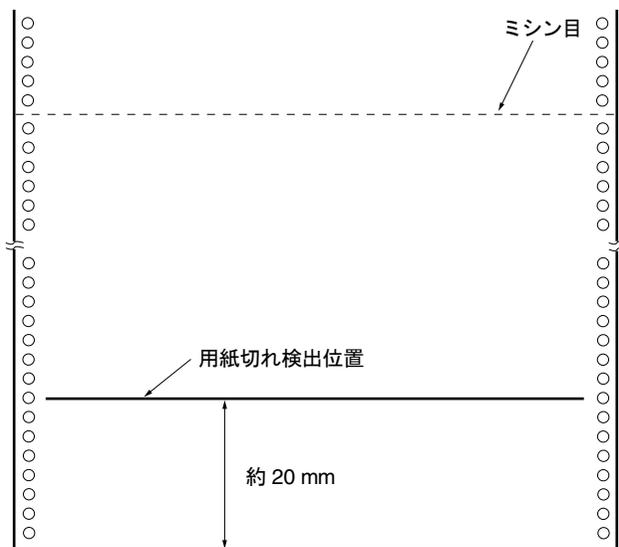
- (2) 用紙は縦方向に横ミシン目の部分でジグザグに折りたたまれているものを使用してください。
- (3) ミシン目の両端は破断していないものを使用してください。



- (4) ミシン目部では用紙のめくれがないものを使用してください。
- (5) 縦ミシン目は用紙端より1/2インチ以内にあり、ミシン目部での用紙の折れ、用紙のめくれ、破断などを起こしていないものを使用してください。
- (6) 縦ミシン目と横ミシン目の交差部は、破断面がクロスしていないものを使用してください。

2.5 連続用紙の用紙切れ（用紙終了）

連続用紙モードで用紙切れを検出したとき、プリンターは、最終ページの下端から約6.4 mmのところまで印刷を自動的に中断します。印刷は不可状態となり、LCD画面に「001 ヨウシテンケン」と表示されます。



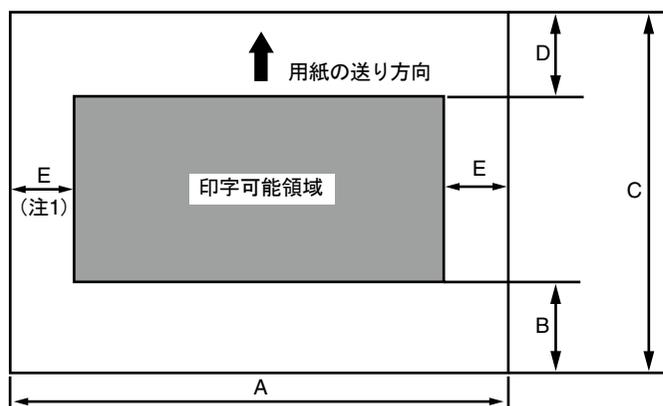
連続用紙が印刷中に用紙切れとなった場合は、新しい用紙をセットしてから **印刷** スイッチを押して、印刷を再開してください。

プリンターが認識しているページ長と、実際に使用している用紙のページ長が異なる場合は、途中で印字を終了したり、プラテンに印字する危険がありますので、必ずページ長を合わせるようにしてください。

3. 単票用紙

3.1 単票用紙挿入ガイドからの給紙

3.1.1 印字可能領域と用紙寸法（印字ヘッドの1番ピンで印字した場合）



記号	寸法	内容
A	76.2～420 mm (5573-W02)	用紙幅 (3インチ～A3サイズ横置き)
	76.2～297 mm (5573-V02)	用紙幅 (3インチ～A4サイズ横置き)
B	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
C	76.2～364 mm	用紙長さ (3インチ～B4サイズ縦置き)
D	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
E	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離

注意

- 5573-W02でA3サイズ（横置き）の用紙を使用する場合、Eの値は約37 mm (Min.) です。また、5573-V02でA4サイズ（横置き）の用紙を使用する場合、Eの値は約40 mm (Min.) です。
- 用紙の縦横比は $1/\sqrt{2} \sim \sqrt{2}$ の範囲の用紙を使用してください。
- 3インチ幅の用紙では、用紙ガイドは左のみ使用します。

3.1.2 用紙の種類

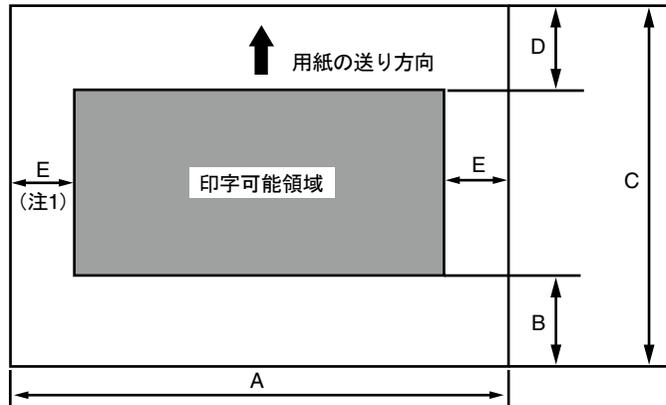
種類	連量 (kg)	寸法 (横×縦 mm)
単葉紙 (A4サイズ縦置き)	38.5～78	210×297
単葉紙 (A4サイズ横置き)		297×210
単葉紙 (B5サイズ縦置き)		182×257
単葉紙 (B5サイズ横置き)		257×182
単葉紙 (B4サイズ縦置き)		257×364
単葉紙 (B4サイズ横置き) (5573-W02のみ)		364×257
単葉紙 (A3サイズ横置き) (5573-W02のみ)		420×297
複葉紙 (2-3)	32.5～48.5	
複葉紙 (4-6)	32.5～38.5	

注意

1. 複葉紙は、用紙によって使用できない場合があります。
2. トータル厚みが0.36 mm をこえる用紙は使用できません。

3.2 自動給紙機構 (ASF) からの給紙

3.2.1 印字可能領域と用紙寸法 (印字ヘッドの1番ピンで印字した場合)



記号	寸法	内容
A	100～420 mm (5573-W02)	用紙幅 (ハガキ縦置き～A3サイズ横置き)
	100～257 mm (5573-V02)	用紙幅 (ハガキ縦置き～B4サイズ縦置き)
B	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
C	100～364 mm	用紙長さ (ハガキ縦置き～B4サイズ縦置き)
D	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
E	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離

注意

- 5573-W02でA3サイズ (横置き) の用紙を使用する場合、Eの値は約37 mm (Min.) です。また、5573-V02でB4サイズ (縦置き) の用紙を使用する場合、Eの値は約27 mm (Min.) です。
- 用紙の縦横比は $1/\sqrt{2} \sim \sqrt{2}$ の範囲の用紙を使用してください。
- 3インチ幅の用紙では、用紙ガイドは左のみ使用します。

3.2.2 用紙の種類

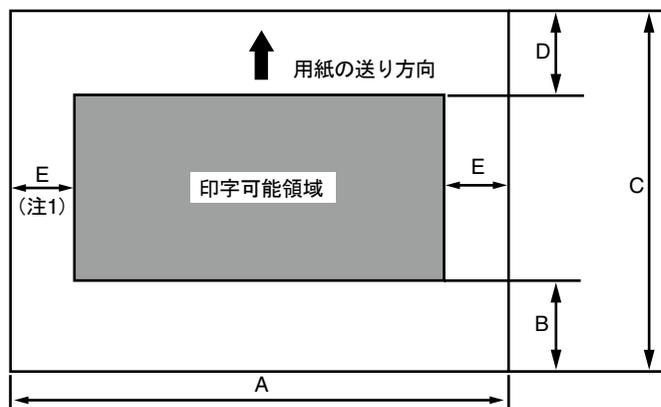
種類	連量 (kg)	寸法 (横×縦 mm)
単葉紙 (A4サイズ縦置き)	38.5～78	210×297
単葉紙 (A4サイズ横置き) (5573-W02のみ)		297×210
単葉紙 (B5サイズ縦置き)		182×257
単葉紙 (B5サイズ横置き)		257×182
単葉紙 (B4サイズ縦置き)		257×364
単葉紙 (B4サイズ横置き) (5573-W02のみ)		364×257
単葉紙 (A3サイズ横置き) (5573-W02のみ)		420×297
複葉紙 (2-3)	32.5～48.5	
複葉紙 (4-5)	32.5～38.5	

注意

1. 複葉紙は、用紙によって使用できない場合があります。
2. トータル厚みが0.30 mmをこえる用紙は使用できません。

3.3 上トラクターまたは自動給紙機構の手差しガイドからの給紙

3.3.1 印字可能領域と用紙寸法（印字ヘッドの1番ピンで印字した場合）



記号	寸法	内容
A	76.2～420 mm (5573-W02)	用紙幅 (3インチ～A3サイズ横置き)
	76.2～257 mm (5573-V02)	用紙幅 (3インチ～B4サイズ縦置き)
B	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
C	76.2～364 mm	用紙長さ (3インチ～B4サイズ縦置き)
D	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
E	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離

注意

- 5573-W02でA3サイズ（横置き）の用紙を使用する場合、Eの値は約37 mm (Min.) です。また、5573-V02でB4サイズ（縦置き）の用紙を使用する場合、Eの値は約27 mm (Min.) です。
- 用紙の縦横比は $1\sqrt{2} \sim \sqrt{2}$ の範囲の用紙を使用してください。

3.3.2 用紙の種類

種類	連量 (kg)	寸法 (横×縦 mm)
単葉紙 (A4サイズ縦置き)	38.5～78	210×297
単葉紙 (A4サイズ横置き) (5573-W02のみ)		297×210
単葉紙 (B5サイズ縦置き)		182×257
単葉紙 (B5サイズ横置き)		257×182
単葉紙 (B4サイズ縦置き)		257×364
単葉紙 (B4サイズ横置き) (5573-W02のみ)		364×257
単葉紙 (A3サイズ横置き) (5573-W02のみ)		420×297
複葉紙 (2-3)	32.5～48.5	
複葉紙 (4-6)	32.5～38.5	

注意

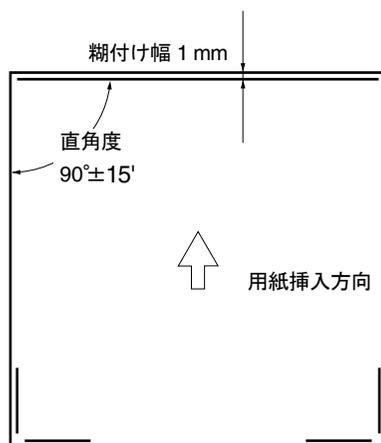
1. 複葉紙は、用紙によって使用できない場合があります。
2. トータル厚みが0.36 mm をこえる用紙は使用できません。

3.4 単票用紙の使用条件

- (1) 用紙の縦と横の直角度は、 $90^{\circ}\pm 15'$ 以内にしてください。
- (2) ミシン目の入った単票用紙を使用すると、用紙詰まりを起こす原因となりますので、避けてください。
- (3) 複葉紙の種類は、感圧紙および裏カーボン紙が使用できます。
複写枚数は、オリジナルを含めて6枚以内ですが、用紙連量によって異なります。
「第3章 5.用紙厚調整」3-21ページを参照してください。
また、オリジナルと複葉紙で大きさの異なる用紙は使用できません。
複葉紙ののり付けは、用紙先端に沿って幅1 mm以上および用紙後端の両端に長さ10 mm、幅1 mm以上、または左右両端の後端に長さ10 mm、幅1 mm以上にしてください。

注意 のり付けが不十分、極端に固い、波打ち状態である場合は、用紙詰まりを起こす原因となりますので、避けてください。

複葉紙ののり付け規格



3.5 単票用紙の印刷範囲について

用紙の先頭行位置は、6.4 mmより大きく設定できます（詳しくは「第3章 3.印字開始位置（先頭行=TOF）の調整」3-15ページを参照してください）。ただし、用紙上端から最初の印刷行までの距離は、ソフトウェアや行送り量に依存します。

最後の印刷行は文字の下端から用紙の下端までの距離を11.3 mm以上空けてください。11.3 mmより下に印字可能ですが、これは用紙送り誤差または用紙自体の長さの誤差により一定ではありません。

単票用紙の排出に制御コードを用いる場合は、次ページの印字データが下端に印字されないように、必ずFF（書式送り）コードまたはESX 0E 00 01 06（単票用紙排出）コードを使用してください。FFコードまたはESX 0E 00 01 06コードを使用していないソフトウェアの場合は、ボトム・マージンを調整することにより書式を整えてください。

3.6 単票用紙設計上の注意

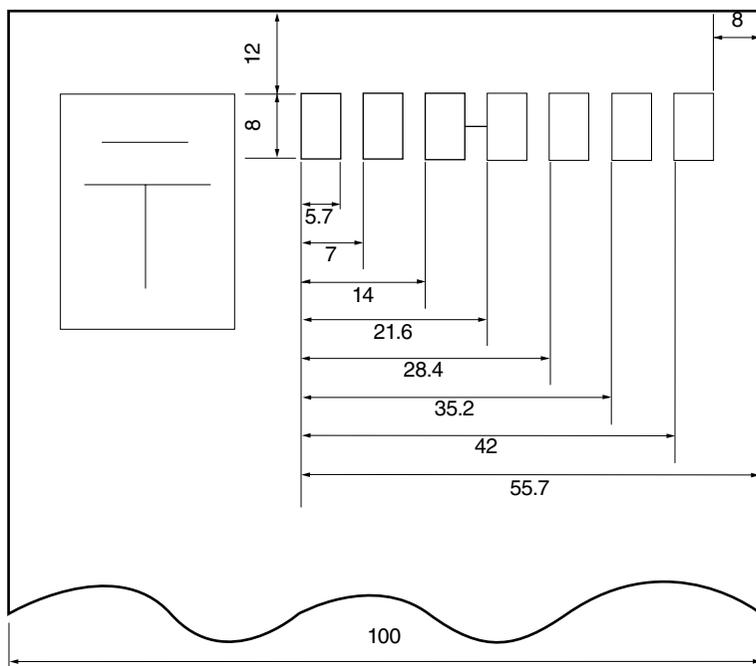
単票用紙の印字可能領域は7-9ページ、7-11ページ、7-13ページの図のようになっています。ただし、印字位置は種々の要因によりずれることがありますので、単票用紙上の事前印刷のレイアウトには、以下のことを考慮してください。

- 用紙左端の印字不可領域は、単票用紙挿入機構の左用紙ガイドの位置設定や、用紙の差し込み方によって変わることがあります。事前印刷用紙に対して印字位置のずれが生じた場合は、左用紙ガイドを移動して若干の補正ができます。
- ボトム・マージンの限度ぎりぎりまで印刷させるような設計を行うと、最終行が印字されずに用紙が排出されることがあります。このような事態を避けるため、用紙を設計する際には、少なくとも1行分程度の余裕を設けてください。
- 単票用紙の排出に制御コードを用いる場合は、FF（書式送り）コードまたはESX 0E 00 01 06（単票用紙排出）コードを使用してください。LF（改行）コードを連続して使用することにより、自動改ページを行わせることは避けてください。

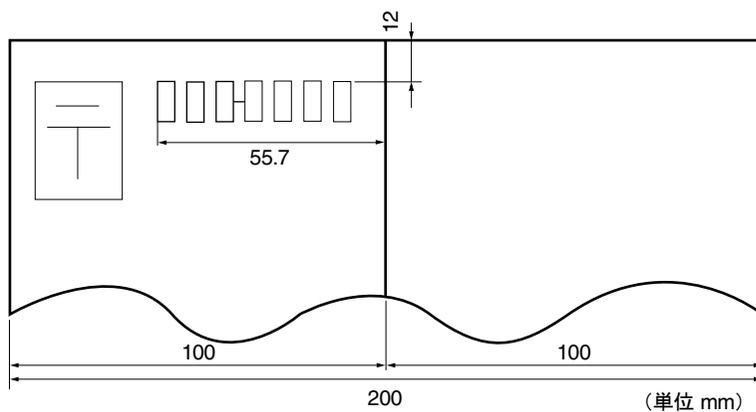
4. 官製ハガキ

4.1 寸法および規格

(1) 官製ハガキ



(2) 往復ハガキ

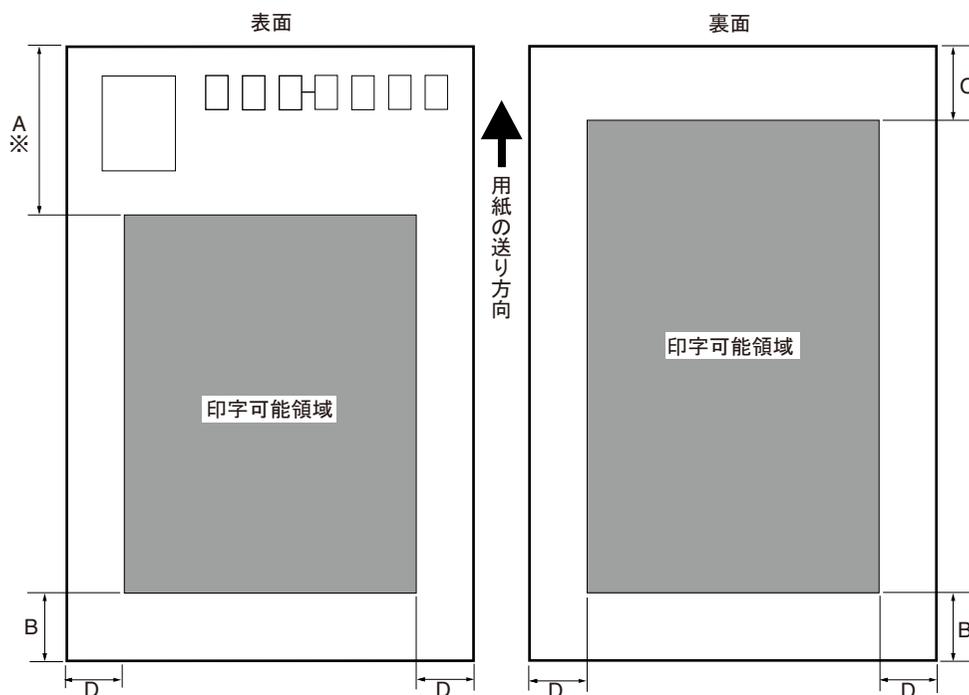


種類	連量	長辺	短辺
官製ハガキ	110 kg	148 mm	100 mm
往復ハガキ	110 kg	200 mm	148 mm

注意 用紙中央を折り曲げた(折りぐせがついた)往復ハガキは使用できません。

4.2 印字可能領域 (印字ヘッドの1番ピンで印字した場合)

- (1) 官製ハガキ
① 縦方向挿入

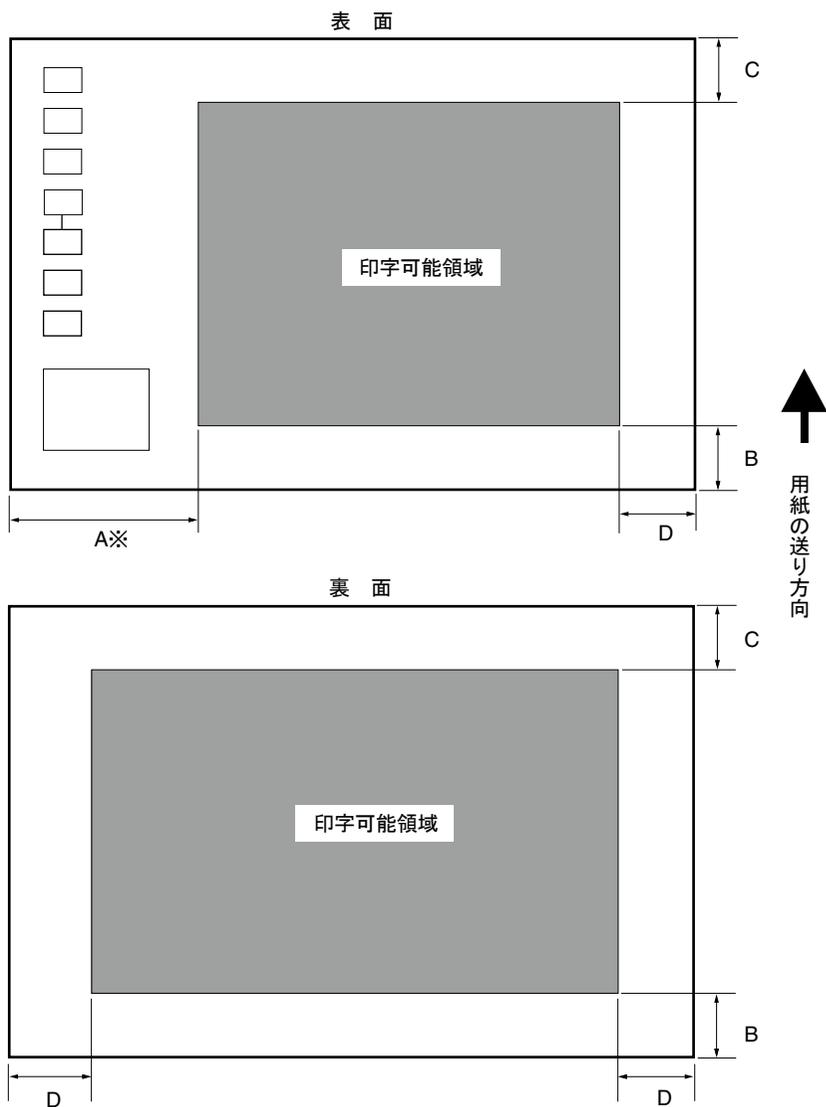


用紙について

記号	寸法
A※	30 mm (Min.)
B	11.3 mm (Min.)
C	6.35 mm (Min.)
D	6.35 mm (Min.)

※ ラベルや切手貼りおよびメモのための空白であり実際には6.35 mmまで印刷可能です。

② 横方向挿入

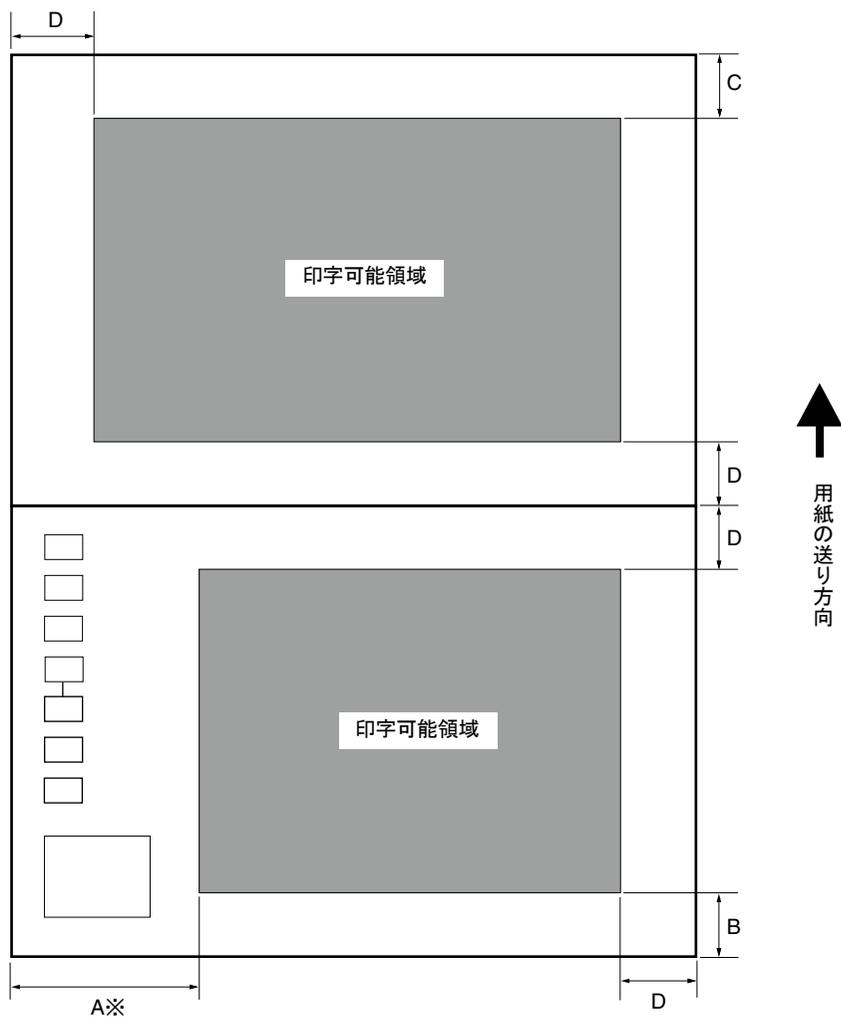


用紙について

記号	寸法
A※	30 mm (Min.)
B	11.3 mm (Min.)
C	6.35 mm (Min.)
D	6.35 mm (Min.)

※ ラベルや切手貼りおよびメモのための空白であり実際には6.35 mmまで印字可能です。

- (2) 往復ハガキ
 ① 横方向挿入

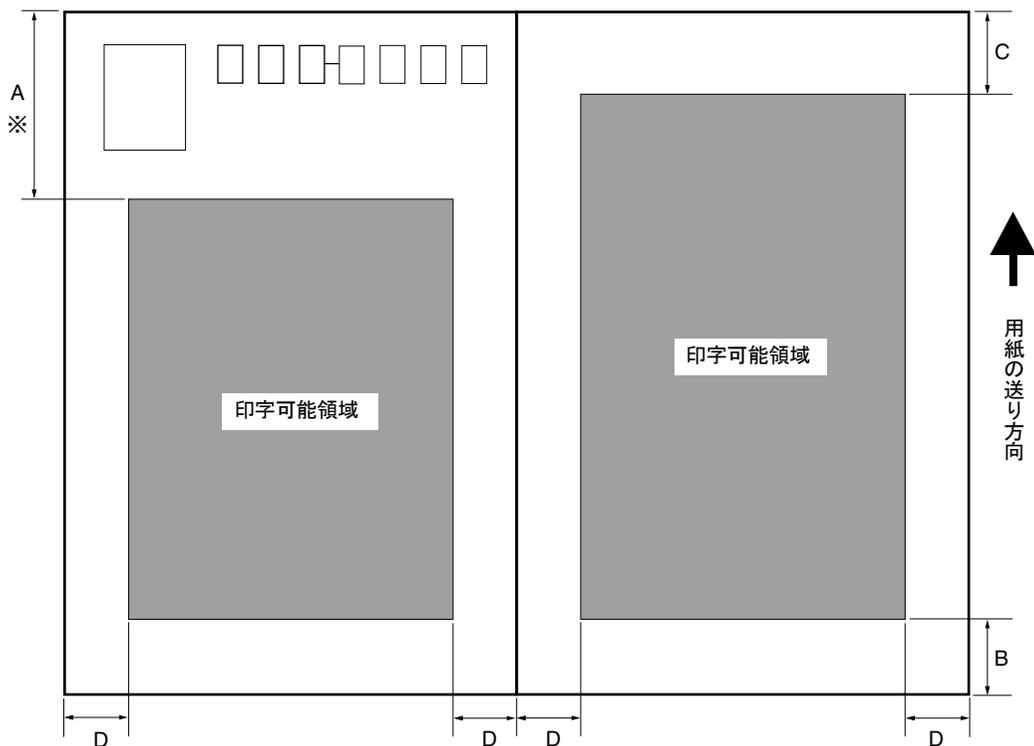


記号	寸法
A※	30 mm (Min.)
B	11.3 mm (Min.)
C	6.35 mm (Min.)
D	6.35 mm (Min.)

※ ラベルや切手貼りおよびメモのための空白であり実際には6.35 mmまで印字可能です。

用紙について

② 縦方向挿入

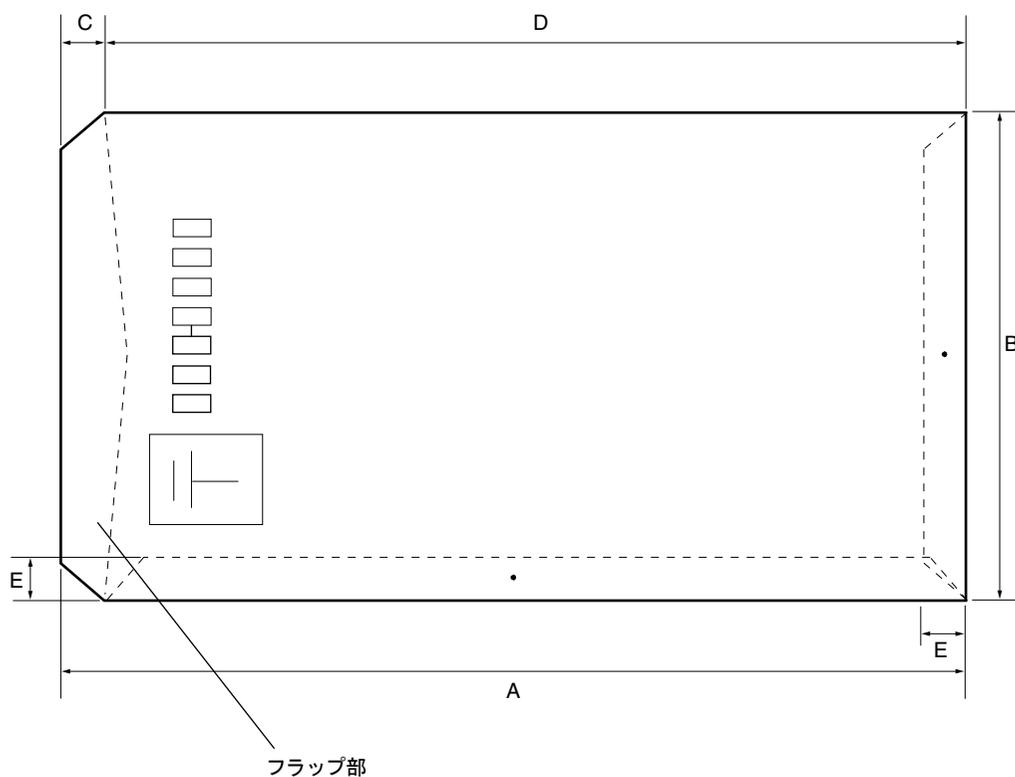


記号	寸法
A※	30 mm (Min.)
B	11.3 mm (Min.)
C	6.35 mm (Min.)
D	6.35 mm (Min.)

※ ラベルや切手貼りおよびメモのための空白であり実際には6.35 mmまで印字可能です。

5. 封筒（手差し給紙のみ印刷可能）

5.1 寸法

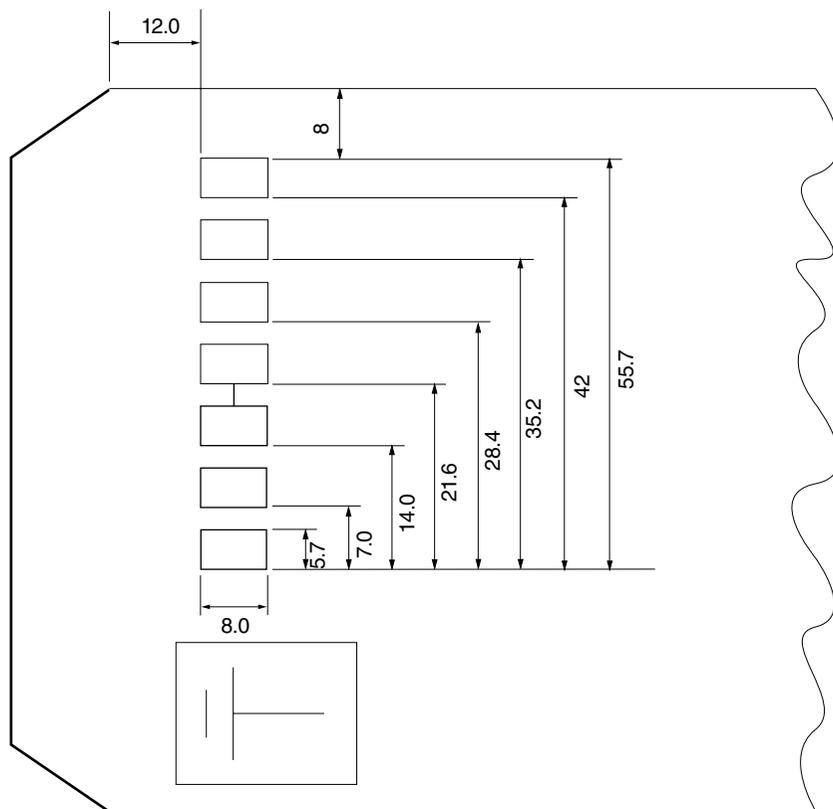


種類	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	挿入方向
長形4号	220～230	90	15～25	205	5～20	横方向
長形3号	250～260	120	15～25	235	5～20	横方向
角形3号 (5573- W02のみ)	297～309	216	15～32	277	5～20	縦方向
角形2号 (5573- W02のみ)	347～364	240	15～32	332	5～20	縦方向

注意

1. 封筒は、JIS S 5502に準拠した一重封筒を使用してください。
2. 窓付き封筒は使用しないでください。
3. 紙質はクラフト紙または同等以上の封筒を使用してください。
4. フラップ部基準端を有する形状（フラップ部基準端が平ら）の封筒を使用してください。
5. フラップ部にのり付け加工処理されている封筒は、のりが完全に乾燥していて、指で触れてものりが付着しないことを確認してください。
また、はくり紙が貼り付けてあるものは使用しないでください。
6. フラップ部およびのり付け部には印字しないでください。また、のり付け部から6.35 mm以内の印字は避けてください。
7. カール、折れ、しわ、破れなどの無いものを使用してください。カールしている場合は、平らになるように逆にさばいて、カールがなくなるようにしてから使用してください。

5.2 郵便番号記入わく



用紙について

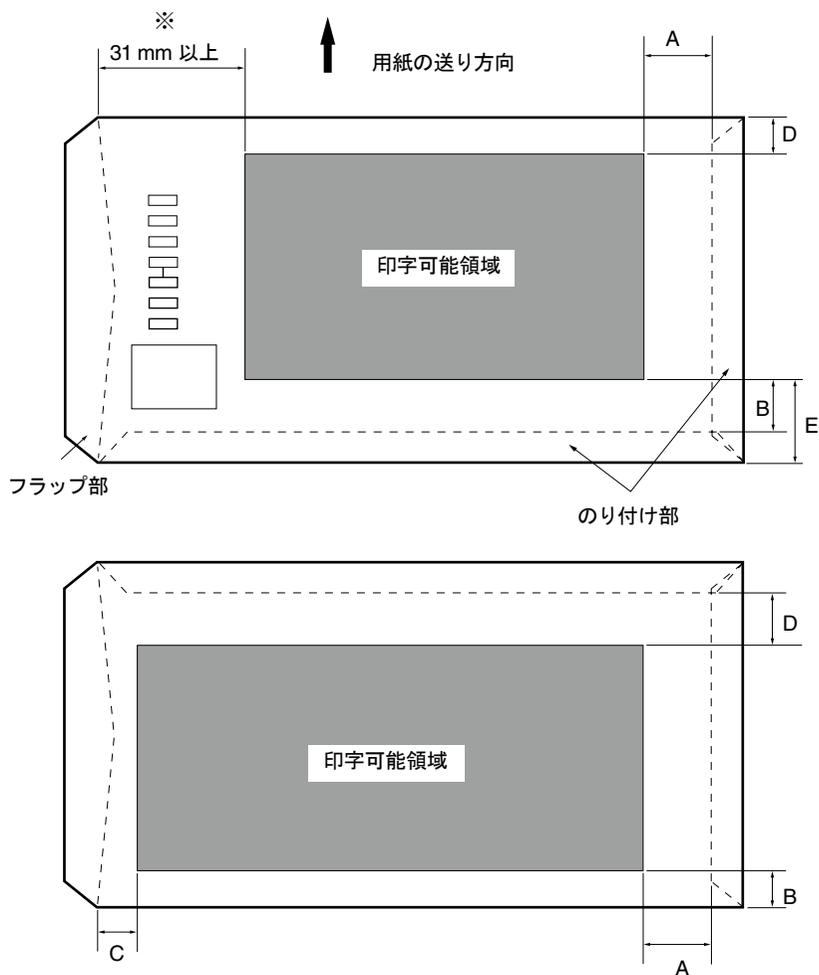
5.3 封筒の種類および重量

種類	挿入方向	連量 (kg)
長形4号	横方向挿入	43～73
長形3号	横方向挿入	43～73
角形3号 (5573-W02のみ)	縦方向挿入	60～73
角形2号 (5573-W02のみ)	縦方向挿入	60～103

注意 封筒は、上記4種類 (5573-V02は2種類) の一重封筒のみ使用可能です。

5.4 印字可能領域（印字ヘッドの1番ピンで印字した場合）

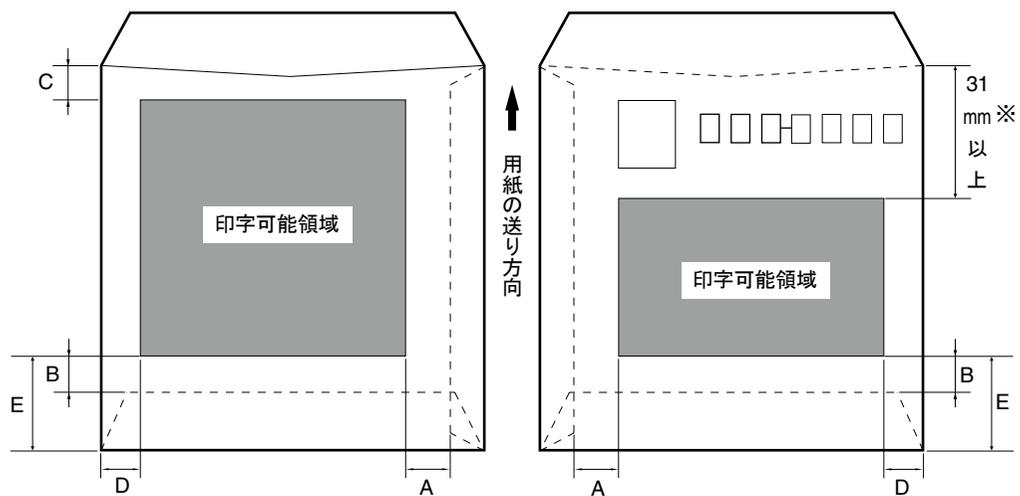
(1) 長形4号、3号



記号	寸法
A	20.32 mm (Min.)
B	6.35 mm (Min.)
C	12.7 mm (Min.)
D	6.35 mm (Min.)
E	11.3 mm (Min.)

※ ラベルや切手貼りおよびメモのための空白であり実際には6.35mmまで印字可能です。

(2) 角形3号、2号 (5573-W02のみ)

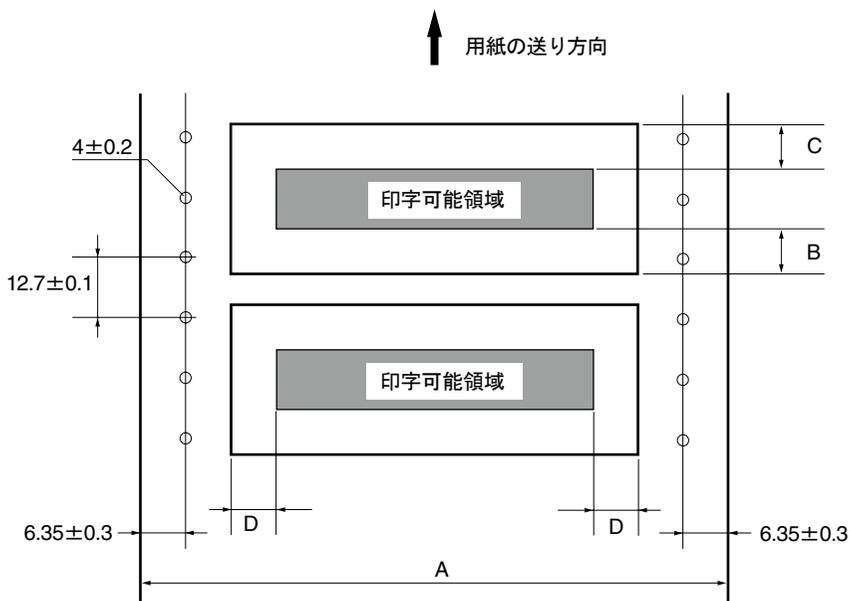


記号	寸法
A	20.32 mm (Min.)
B	6.35 mm (Min.)
C	12.7 mm (Min.)
D	6.35 mm (Min.)
E	11.3 mm (Min.)

※ ラベルや切手貼りおよびメモのための空白であり実際には6.35 mmまで印刷可能です。

6. ラベル紙（連続用紙モード時）

6.1 印字可能領域と寸法（印字ヘッドの1番ピンで印字した場合）

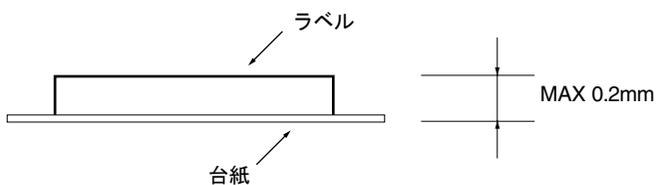


記号	寸法
A	3 ~ 16 in. (5573-W02)
	3 ~ 10 in. (5573-V02)
B	6.35 mm (Min.)
C	6.35 mm (Min.)
D	6.35 mm (Min.)

6.2 台紙の重量

連量55～70 Kgまたは、同等品のものを使用してください。

6.3 紙厚



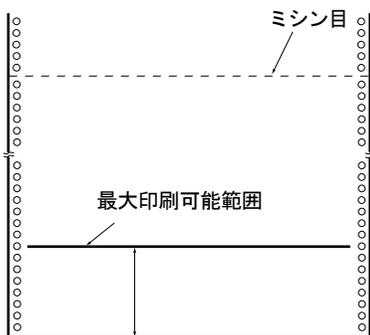
注意

1. 台紙上のラベルは、すべて同じ厚さのものを使用してください。
2. ラベルのプリンターへの貼り付きを防ぐため、なるべく以下のタイプのラベル紙を使用してください。
 - カストリ無し (ラベルのまわりのカスを残したタイプ)
 - ハーフカット (ラベルの外周のカットを一部残したタイプ)

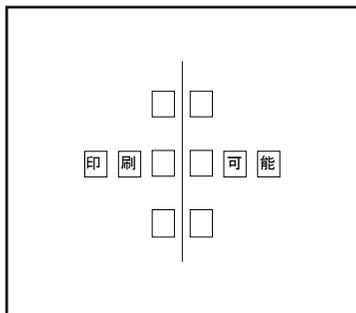
7. 事前印刷

7.1 事前印刷の注意

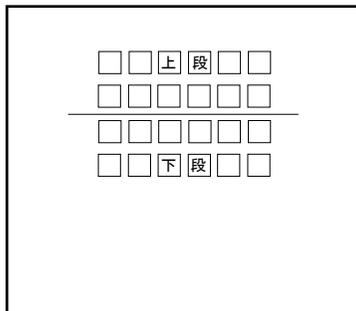
事前印刷する場合、最大印字範囲ぎりぎりに印刷するような用紙設計は避けてください。
(連続用紙：7-3ページ、単票用紙：7-9ページ、7-11ページ、7-13ページ、官製ハガキ：7-18ページ、7-19ページ、往復ハガキ：7-20ページ、7-21ページ、封筒：7-25ページ、7-26ページ、ラベル紙：7-27ページ)



縦罫線を事前印刷する場合は、縦罫線の左右に少なくとも漢字1文字分の余白をとってください。
□:漢字1文字分の余白



横罫線を事前印刷する場合は、横罫線の上下に少なくとも漢字1文字分の余白をとってください。
□:漢字1文字分の余白



空白ページ